



希望記事

・東日本震災以後、ALPSの記事にも復興へ向かう前向きな取組みをされている方に積極的にフォーカスが向けられているように感じ、励まされる想いの方も多かったことでしょう。時間の経過とともに日々失われていくであろう震災の記憶や教訓をなくさないように、これからも時々取り上げていただければと思います。

了解いたしました。

・パソコンやスマートフォンなどはこれからの社会ではいくつになっても必要なものと思います。パソコンはともかく、最近出始めたスマートフォンについて、「選び方」「アプリ」のことなど基本的なことのでいいので、取り上げて欲しいです。

本誌で取り上げるのは難しいですが、今号および前号の編集後記をぜひご覧ください。

・退職した方の具体的な失敗談を踏まえて、これから退職する後輩への老後のライフプランへのアドバイスを特集して欲しい。

失敗談はぜひ掲載したく思い、当方でも真剣に探していますが、登場していただける方が見つかりません。是非どなたかご紹介ください。

・E&Sの2本立ては今後お願いしたいです。どちらもためになります。

今年度も2本立てで掲載していく予定です。お楽しみに。

・年4回となり、ホットな話題はとりあげにくくなっているかと思いますが、公務員を取り巻く環境や橋下新市長など、時事に関することも興味があります。

前号における「再任用の現状と65歳定年制への動き」の記事等、年4回発行に耐えうるホットなテーマは今後もしも取り上げていきます。

その他ご意見

・小山内美江子さんのインタビューを読んで、今自分にできることを素直に実行すべきであると感じました。「守りに入らず、好奇心をいつまでも持つ」いい言葉です。言い換えれば、元気で健康に良い年を過ごせるということです。退職しても「全体の奉仕者」でいたいものです。

・小山内美江子さんの才能と情熱に敬意を表します。シニアパワーにも活力を感じます。

小山内さんの、年齢にとらわれることなく、アクティブにエネルギーに活動されている姿には、大いに刺激を受けますね。

・Family「家族で介護をするとき、心に留めておきたいこと」が印象に残りました。気付けば親も高齢に。突然介護が身に降りかかる日がそう遠くない日に訪れるのではと、漠然とした不安を感じるようになってきました。そうしたところに今回の記事。わかりやすくまとめられていました。参考にしたいと思います。

同じ不安を抱えた方は少なくないと思います。介護問題は今年度も取り上げる予定です。

・今回は定年後のライフプランや50代からの筋力の衰えなどが特集されており、興味深かった。本人にはまだ先のことに思えても、学習するのは早いほうが良いです。親にも見せて一緒に考えて豊かな老後を送ってもらいたいと思います。

「知っている」ことが自己防衛の第一歩ですね。

・Career、目指すは「不安を減らすお手伝い」ができる職業人への記事を読んで、その勉強に対するどんな姿勢を私も見習わねばと思いました。やはり、ベストの仕事を目指せば、学ぶことはやめることができないかと痛感します。

仕事をきっかけに興味を持ち、知識を増やして自らのスキルを高められている執筆者の柳原さんの学ぶ姿勢には、関心させられますね。

・「退職に向けたライフプラン」と「地方公務員の再任用の現状と65歳定年制への動き」については取り上げて欲しい内容だったので、興味深く拝読いたしました。

これらのテーマは今後も随時、取り上げていく予定です。

・震災以後の経済情勢が気になるところですが、震災復興の力になるのがマンパワーです。公務員の削減が叫ばれて久しくなりますが、復興には公務員のマンパワーは不可欠です。被災地で頑張っている各自治体職員の活躍を紹介してもらえればと思います。

おっしゃるとおり、震災復興に公務員のマンパワーは不可欠です。今号の UsefulLife ㏔ Topics もぜひご覧ください。

・Person、無名の「福島」を世界に選ばれる「福島」にの記事は、今の市村さんの気持や思いが伝わってきて感動しました。まさに、風を起こす地方公務員の記事にぴったりだと思いました。

今後もひたむきに仕事をされている地方公務員の姿を取り上げていきます。

・アンケート調査の結果がわかると自分と周りとの考えがわかるので、調査員にはありがたいです。

アンケート調査結果の掲載も含めて検討してみます。

・公務員改革が、公務員たきとして、国民、県民の不満のやり玉に挙がっていることが、どうにも我慢ができません。公務員の質を高めることが、国民、県民にとってプラスになることを、理解してもらいたいですね。

本誌でも、公務員の質を高めるお手伝いをしていきたいと思っています。

・保健・医療・福祉行政に携わってきたせいか、どうしてもその関連記事に興味が行ってしまいます。退職後の長い人生、健康で生きがいを持った生活を送るためにも、若い人にこそALPSの記事を読んでいただきたいと思っています。

年齢層の高い方向けの記事でも「予習」の気持ちで、ぜひ若いうちからお読みいただければと思います。

・定年後や未来に向けて少しがんばる内容と、息抜きの特集のバランスが良いと思います。ちょっとがんばる内容はまだまだ避けたい気分が大きくなりますが、なるべく読み込むようにしています。

無理のない範囲で、これからお付き合いいただければ幸いです。